

## フィールドパートナー 自己紹介カード

「フィールドパートナー」とは フィールドワークパートナーの略称。

水俣・芦北地域のフィールドで、史実に基づいて解説し、来訪者とともに考察します。

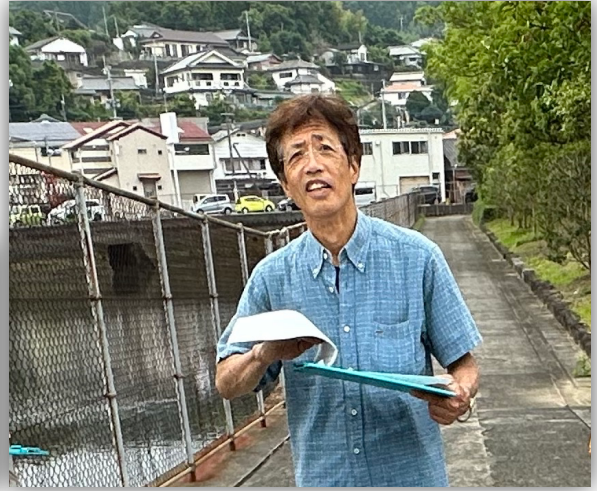
社会課題を自由に考えることを妨げない案内を心がけています。 since2011

名 前/<sup>とくなが</sup>徳永 <sup>きわみ</sup>極

所 属/水俣芦北公害研究サークル

出 身/熊本県芦北町

特 技/剣道



### なぜフィールドパートナーをされているのでしょうか

今まで、学習したこと、経験したことを伝えたり、発信したりすることで、地域に貢献できるのではないかと考えたからです。

### あなたにとって、水俣の魅力はなんですか

美しい海、川、山、温泉など自然に恵まれていること。そこに住む人情豊かな人々など、水俣の魅力はいっぱいあります。しかし、不幸なできごとである水俣病を経験し、そこにどう向き合ってきたのかという歴史と人それぞれの生き方が、他の地域にはない一番の魅力だと考えています。

### 子どもたちや若者たちに何を伝えたいと思って案内していますか

真実を知ろうとする姿勢や真実を知る力を自分自身につけることが大事だということを水俣病問題学習を通じて気づいてほしいと思います。大人たち（政府やマスコミなど）が言っている口あたりの良さそうなことを鵜呑みにせず、水俣病を自分の問題としてとらえ、どうあるべきだったのか、みなさんが主体的に考えるような案内ができれば最高です。また、水俣病の問題は、まだ終わっておらず、今も続いていることを感じてもらえるように努めたいと思っています。

### 若い人たちは、水俣から何を学んでほしいと思いますか

水俣病患者さんたちの苦しい生活、環境、状況を乗り越えた力強い生き方、それを乗り越えるためにどんな力が必要だったのかをともに私と一緒に考え、私自身もみなさんと一緒に学んでいきたいと思っています。